

Skype for Business 評価： 前提条件および構成

このドキュメントでは、Azure Log Analytics ワークスペースと Microsoft Unified Support ソリューション パックに含まれている Skype for Business 評価の構成に必要な手順を説明します。

評価を構成するために使用できるシナリオは 2 つあります。組織に最も適したシナリオを選択してください。

1. OMS Gateway とデータ収集マシン
2. データ収集マシンのみ

OMS Gateway とデータ収集マシン

このシナリオは最も安全な推奨オプションで、評価の実行に必要なこのデータ収集マシンで構成され、スケジュールされたタスクで使用する特権アカウントの資格情報を保護するのに役立ちます。このシナリオには 2 つのコンピューターが必要です。1 台はデータ収集マシンとして指定され、第 2 コンピューターは OMS Gateway となります。このシナリオでは、データ収集マシンはインターネット接続を使用しないで、OMS Gateway に接続し、Log Analytics にデータをアップロードします。OMS Gateway はインターネットに接続する必要があります。このシナリオは、インターネット接続がデータ収集マシンから制限されている環境、または、このスケジュールされたタスクの要件によりセキュリティ上の懸念事項がある環境に対して推奨されます。OMS Gateway の詳細情報については、次にアクセスしてください: <https://go.microsoft.com/fwlink/?linkid=830157>

データ収集マシンは、評価される環境のドメインのメンバーである必要があります。Lync/Skype for Business 環境にあるすべてのサーバーのデータが収集されます。データが収集されると、データ収集マシンがその情報を分析し、セキュリティ向上のために OMS Gateway にデータを転送し、Log Analytics にそのデータをアップロードします。

次のパスは、OMS Gateway とデータ収集マシンのインストールおよび構成後の Windows コンピューターと Log Analytics との関係を示しています。

データ収集マシン ・ 環境にあるすべての Lync/Skype for Business サーバーからのデータを収集 ・ 収集されたデータを OMS Gateway に転送 ・ Log Analytics ワークスペースにデータを送信

データ収集マシンのみ

このシナリオは、データ収集マシンが Log Analytics に直接コンタクトできる場合に利用できます。データ収集マシンとして指定するコンピューターが 1 つ必要になります。そのコンピューターは、Log Analytics にデータをアップロードするために、インターネットにアクセスする必要があります。このシナリオは、インターネット接続が制限されない環境に適用できます。

データ収集マシンは、評価されるフォレストのメンバーである必要があります。フォレスト内のすべてのドメイン コントローラーからデータが収集されます。データが収集された後に、データ収集マシンで情報が分析されると、Log Analytics にデータが直接アップロードされます。これを行うには、Log Analytics ワークスペースへの HTTPS 接続が必要です。次のパスは、データ収集マシンのインストールおよび構成後の Windows コンピューターと Log Analytics との関係を示しています：

データ収集マシン ・ 環境にあるすべての Lync/Skype for Business サーバーからデータを収集 ・ Log Analytics ワークスペースにデータを送信。

これらの構成と要件に関する詳細情報については、このドキュメントの後半に一覧表示されています。

このドキュメントの最終更新日は、2018 年 6 月 5 日です。このドキュメントの最新バージョンが与えられていることを確認するには、こちらを確認してください：

<https://go.microsoft.com/fwlink/?linkid=860141>

目次

システム要件および構成の概要	3
サポートされているバージョン	3
両方のシナリオに共通	3
データ収集マシン	4
OMS Gateway (OMS Gateway とデータ収集マシンのシナリオが必要です)	4
Skype for Business 評価のセットアップ	5
付録	8
データ収集メソッド	8

システム要件および構成の概要

Skype for Business 評価では、最大 85 のサーバーおよび 150,000 人のユーザーを含む単一の Lync/Skype for Business Server 環境をサポートしています。単一または混合バージョン環境の Lync Server 2010、Lync Server 2013、および Skype for Business Server 2015 がサポートされます。

使用するシナリオに従って、次の詳細を確認し、必要な要件を満たしていることを確かめてください。

サポートされているバージョン

Lync/Skype for Business 環境は、Lync Server 2010 以上で実行される必要があります。

両方のシナリオに共通

- ロブ分析ワークスペースが必要です。
- データ収集マシンにインストール済みの Lync/Skype for Business 管理ツール。
- データ収集マシン上の AD DS リモート サーバー 管理ツール
- 収集マシンから、次に使用される SQL Server を含む Lync/Skype for Business サーバーへの無制限のネットワーク アクセス
- エンタープライズ プール、QoE/CDR および Office Online Servers
- 各 Lync/Skype for Business サーバーでの WinRM QuickConfig
- 代理トランザクション ユーザー アカウントは、Lync/Skype for Business サーバー プールごとに定義される必要があります
- ユーザー アカウントの権利：
 - フォレストの各ドメインのドメイン管理者、またはすべての Lync/Skype for Business Server（存続可能ブランチ アライアンスまたはサーバー（SBA/SBS と呼ばれる）を含む）のローカル管理者のアクセス
 - Lync/Skype for Business Server に関連する Active Directory グループのメンバーシップ：
 - ✓ RTCComponentUniversalServices
 - ✓ RTCUniversalServices
 - ✓ RTCUniversalSBATechnicians
 - ✓ RTCUniversalServerAdmins
 - ✓ RTCUniversalUserAdmins
 - ✓ CSAdministrator
 - Lync/Skype for Business Server 上（クラスターの場合は、該当するインスタンスが存在するすべてのノード上）のローカル管理者
 - Lync/Skype for Business Server に関連するインスタンスごとに、最低限必要なアクセス許可のセット
 - ✓ SQL の接続
 - ✓ 任意のデータベースを表示
 - ✓ サーバーの状態の表示

確認するには、Microsoft SQL Server Management Studio を使用してインスタンスに接続します。インスタンスのプロパティで、ページの「権限」を選択しますそれから、「ログインとロール」リストで、自分のアカウントを示すものを選択し、有効な権限を確認します。

- Lync/Skype for Business Server 関連のデータベース（特に Enterprise Edition プールの RTC データベース）、Lync/Skype for Business Server 監視サーバー ロールをサポートする LcsCDR および QoEMetrics データベースごとに、少なくとも必要な権限の最小セット。
 - ✓ 接続
 - ✓ 実行
 - ✓ 選択

確認するには、Microsoft SQL Server Management Studio を使用し、データベースに接続します。データベースのプロパティで、ページの '権限' を選択します。それから、'ログインとロール' リストで、自分のアカウントを示すものを選択し、有効な権限を確認します。

データ収集マシン

- **Microsoft Monitoring Agent (MMA)** のオペレーティング システム要件については、Skype for Business サーバーのオペレーティング システム要件を参照してください。

[Lync Server 2013](#)

[Skype for Business 2015](#)

[Skype for Business 2019](#)

重要: クライアント オペレーティング システムでの MMA のインストール オプションについては、特権を持つドメイン アカウントの資格情報が信頼性の低いワークステーションに公開される危険があるため、避けることを強く推奨します。

- **データ収集マシン**は、Lync/Skype for Business Server が存在する Active Directory ドメインのメンバー サーバーである必要があります。
- **データ収集マシンのハードウェア:** 最小 8 GB の RAM、2 GHz デュアル コア プロセッサ、最小 10 GB の空きディスク領域。
- **データ収集マシン**は、管理グループの管理サーバーのいずれかに接続し、そこから情報を取得するために使用され、リモート プロシージャ コール (RPC)、サーバー メッセージ ブロック (SMB)、WMI、リモート レジストリ、SQL データベース、ライトウェイト ディレクトリ アクセス プロトコル (LDAP) および Distributed Component Object Model を介して通信しています。
- Microsoft .NET Framework 4.0 以降がインストールされています。
- **データ収集マシン**は、HTTPS を使用してインターネットに接続し、収集データを Log Analytics ワークスペースに送信する必要があります。この接続は直接の場合、またはプロキシ経由の場合があります。
- **Microsoft Monitoring Agent** が Log Analytics ワークスペースに接続および登録するには、それがインターネットにアクセスできる必要があります。エージェントと Log Analytics サービス間の通信でプロキシ サーバーを使用している場合は、適切なリソースにアクセスできることを確認する必要があります。インターネットへのアクセスを制限するためにファイアウォールを使用している場合は、Log Analytics へのアクセスを許可するために、ファイアウォールを構成する必要があります。データを送信できることを確認するには、次にアクセスし、Log Analytics でのプロキシとファイアウォールの構成の設定の手順に従ってください: <https://azure.microsoft.com/en-in/documentation/articles/log-analytics-proxy-firewall/>

OMS Gateway (OMS Gateway とデータ収集マシンのシナリオで必要です)

- **OMS ゲートウェイ**は、スタンドアロンの場合、またはメンバー サーバーの場合があります。Windows Server 2012 R2 以降が必要とされます。
- **OMS Gateway** は、HTTPS を使用してインターネットに接続し、収集データを Log Analytics ワークスペースに送信する必要があります。この接続は直接の場合、またはプロキシ経由の場合があります。
- **OMS Gateway のハードウェア:** 最小 4 GB の RAM、2 GHz プロセッサ。
- **OMS Gateway ユーザー アカウントの権利:** 必要なし。

以下のリンクをクリックし、"評価のセットアップ" のドキュメントをダウンロードし、OMS Gateway と Microsoft Monitoring Agent をインストールします。

<https://go.microsoft.com/fwlink/?linkid=860142>

Microsoft Monitoring Agent/OMS Gateway のインストールを完了したら、評価をセットアップするために、次のセクションを続行します。

Skype for Business 評価のセットアップ

Microsoft Monitoring Agent/OMS Gateway のインストールを完了したら、Skype for Business 評価をセットアップする準備は整っています。

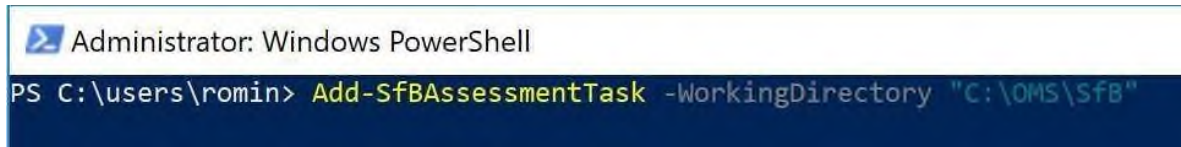
指定されたデータ収集マシンで次の手順を実行します：

1. 管理者として PowerShell コマンド プロンプトを開きます。

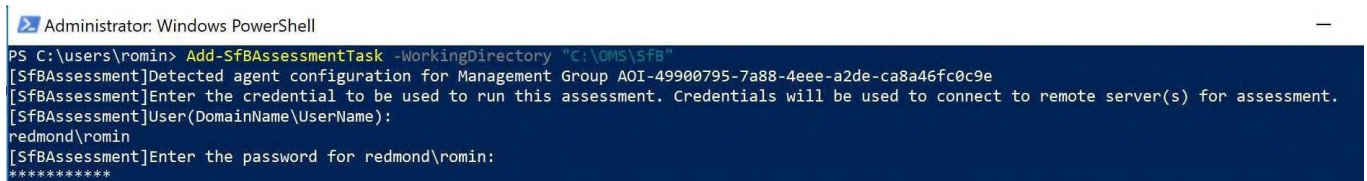


2. **Add-SfBAssessmentTask -WorkingDirectory <Directory>** コマンドを実行します。このコマンドでは、<Directory> が環境からのデータを収集および分析している間に作成されたファイルを保存するために使用する既存のディレクトリへのパスになります。

注意： ディレクトリが存在しない場合は、実行を続行する前に作成する必要があります。



3. 必要なユーザー アカウントの資格情報を入力してください。

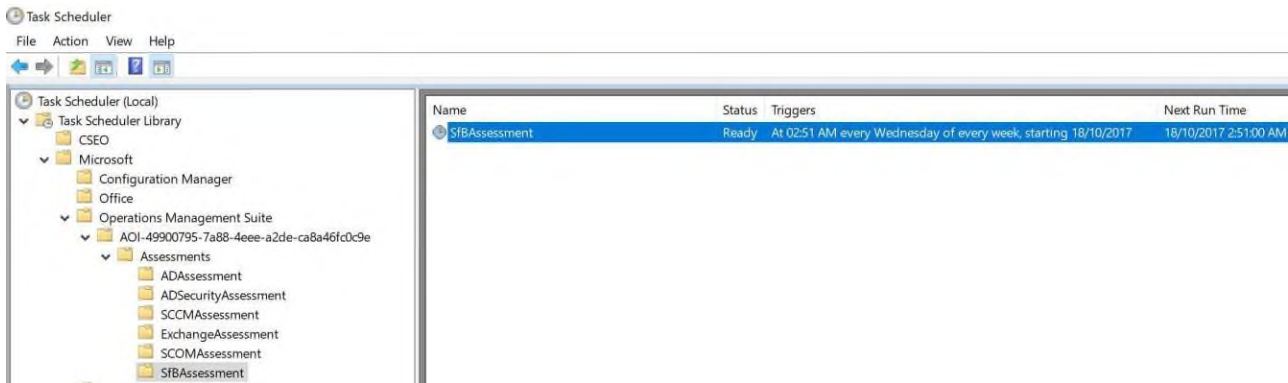


注意： このドメイン アカウントは、前のセクションで指定されているユーザー アカウントの権利をすべて有している必要があります。

4. 必要な構成に基づいてスクリプトが実行されます。データ収集をトリガーするスケジュールされたタスクが作成されます。

```
Administrator: Windows PowerShell
PS C:\users\romin> Add-SfBAAssessmentTask -WorkingDirectory "C:\OMS\SfB"
[SfBAAssessment]Detected agent configuration for Management Group AOI-49900795-7a88-4eee-a2de-ca8a46fc0c9e
[SfBAAssessment]Enter the credential to be used to run this assessment. Credentials will be used to connect to remote server(s) for assessment.
[SfBAAssessment]User(DomainName\UserName):
redmond\romin
[SfBAAssessment]Enter the password for redmond\romin:
*****
[SfBAAssessment]Creating windows Schedule task to run assessment...
[SfBAAssessment]SfBAAssessment setup successful.
[SfBAAssessment]Detailed log is at: C:\Users\romin\AppData\Local\Temp\Assessments_Configuration_20171018_085115.log
PS C:\users\romin>
```

5. データ収集は、名前 “SfBAAssessment” のスケジュールされたタスクにより、前のスクリプトの実行後 1 時間以内、それから 7 日ごとにトリガーされます。タスクは、別の日時に実行するように変更できます。また強制的に即実行することもできます。



6. 収集および分析している間、次の構造を使用して、インストール時に指定された作業ディレクトリにデータが一時的に保存されます：

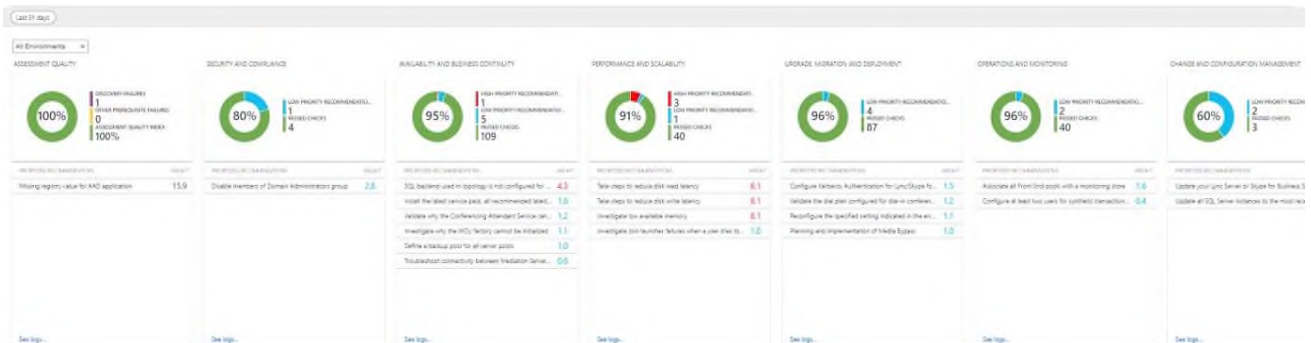


7. データ収集マシンでデータの収集および分析を完了すると、データが Log Analytics ワークスペースに送信されます。
- 直接、データ収集マシンをインターネットに接続している場合。
 - OMS Gateway 経由、それから Log Analytics ワークスペースにデータが送信されます。

8. 数時間後、評価結果を Log Analytics ダッシュボードで利用できるようになりますので、**Skype for Business 評価** タイルをクリックし、次を確認してください:



9. 重点領域によってグループ化された検出結果が表示されます。



付録

データ収集メソッド

Log Analytics ワークスペースと Microsoft Unified Support ソリューション パックに含まれている Skype for Business 評価では、複数のデータ収集メソッドを使用して環境から情報を収集します。このセクションでは、環境からデータを収集するために使用されるメソッドについて説明します。データ収集に VB スクリプトは使用されません。

データ収集ではワークフローとコレクターを使用します。コレクターは次のとおりです：

1. レジストリ コレクター
2. LDAP コレクター
3. イベント ログ コレクター
4. Lync 管理シェル
5. WMI

1. レジストリ コレクター

レジストリ キーと値は、Lync/Skype for Business Servers から読み込まれます。次のような項目が含まれます：

HKLM\SOFTWARE\Microsoft\Real-Time 通信のバージョン情報。

これにより、Lync/Skype for Business Servers でインストールされた各 Lync/Skype for Business コンポーネントのバージョンを確認できるようになります。

2. LDAP コレクター

LDAP クエリは、Active Directory 自体から、フォレストとドメイン、パーティションおよびその他のコンポーネントのデータを収集するために使用されます。AD で必要なポートの完全な一覧については、次を参照してください：<http://support.microsoft.com/kb/179442>。

3. イベント ログ コレクター

Lync/Skype for Business Servers からイベント ログを収集します。Lync/Skype for Business Server のログから、過去 7 日間の警告とエラーが収集されます。

4. Lync/Skype for Business 管理シェル

Windows PowerShell の Lync/Skype for Business モジュールを使用して、Lync/Skype for Business Server の構成を収集します。

5. Windows Management Instrumentation (WMI)

WMI は、次のようなさまざまな情報を収集するために使用されます：

- WIN32_Volume
フォレスト内の各 DC のボリューム設定に関する情報を収集します。この情報は、たとえば、システム ボリュームとドライブ レターを確認するために使用され、それにより、クライアントはシステム ドライブにあるファイルの情報を収集できるようになります。
- Win32_Process
フォレスト内の各 DC で実行されているプロセスに関する情報を収集します。この情報により、大量のスレッドやメモリを使用するプロセス、または大きなページ ファイル使用量となるプロセスに関する分析情報が提供されます。
- Win32_LogicalDisk

論理ディスクに関する情報を収集するために使用されます。データベースまたはログ ファイルがある場所のディスクの空き領域の量を確認するために、この情報が使用されます。